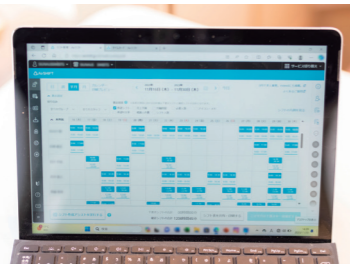




全てのスタッフが製造と接客を担当する。1日に15人ほどが出勤し割り振られた業務を担当する。出勤するスタッフが一目でシフトを確認できるのも『Airシフト』の魅力の一つだ



生地の味わいがシンプルのため、トッピングが味を左右する。チョコレートはベルギー産を使用するなど素材にこだわる



今後はCSVデータを活用して、事務作業に要する時間を圧縮したいと大庭氏は語る



ドーナツは冷凍で日持ちすることから、余ったものは地域の児童施設や子ども食堂などに寄付している。「食を通じた社会貢献は目標でもあったので続けていきたい」と大庭氏は話す

「Airシフト」導入後、毎月1〜15日分は前月の25日、16日〜月末分は当月の10日を希望シフトの提出期限日に設定している。スタッフは、スタッフ用シフト管理アプリ『シフトボード』を使って、自分のスマートフォンから希望シフトを入力。すると、『Airシフト』のシフト表に自動反映されるので、転記の必要がない。また、設定しておけば、スタッフに自動で希望シフトの提出期限日が周知される。「新規の採用が難しい昨今、今働いてくれているスタッフはとても貴重な存在です。そのためできるだけ希望シフトは削りたくない。『Airシフト』であれば『希望叶え率』が表示されるので、公平に出勤を調整しています。また人員が足りな

『Airシフト』で人材にまつわるデータを可視化し採用難に備える

いときには、「チャット機能」で改めて「Airシフト」導入後も2回のシフト作成は変わらず、毎月1〜15日分は前月の25日、16日〜月末分は当月の10日を希望シフトの提出期限日に設定している。スタッフは、スタッフ用シフト管理アプリ『シフトボード』を使って、自分のスマートフォンから希望シフトを入力。すると、『Airシフト』のシフト表に自動反映されるので、転記の必要がない。また、設定しておけば、スタッフに自動で希望シフトの提出期限日が周知される。「新規の採用が難しい昨今、今働いてくれているスタッフはとても貴重な存在です。そのためできるだけ希望シフトは削りたくない。『Airシフト』であれば『希望叶え率』が表示されるので、公平に出勤を調整しています。また人員が足りな

いときには、「チャット機能」で改めて「Airシフト」導入後も2回のシフト作成は変わらず、毎月1〜15日分は前月の25日、16日〜月末分は当月の10日を希望シフトの提出期限日に設定している。スタッフは、スタッフ用シフト管理アプリ『シフトボード』を使って、自分のスマートフォンから希望シフトを入力。すると、『Airシフト』のシフト表に自動反映されるので、転記の必要がない。また、設定しておけば、スタッフに自動で希望シフトの提出期限日が周知される。「新規の採用が難しい昨今、今働いてくれているスタッフはとても貴重な存在です。そのためできるだけ希望シフトは削りたくない。『Airシフト』であれば『希望叶え率』が表示されるので、公平に出勤を調整しています。また人員が足りな

注目の「Airシフト」導入店取材

シウナススイーツ調布本店

やりとりも作成もラクになるシフト管理サービス



ドーナツ専門店
スタッフ数/社員4人、アルバイト39人
株式会社ASH GARDEN 代表取締役 大庭 亨氏
マネージャー 渡邊育美氏

『Airシフト』の導入でシフト作成は30分ほどで完了

心に余裕を持った店舗運営が実現して、

お客様とスタッフに喜びを届ける

動物やキャラクターをかたどったチョココレートがトッピングされたカラフルなドーナツや、子どもたちが好むかわいらしいスイーツがショーケースにずらりと並ぶ。2021年5月、東京・京王多摩川駅近くにオープンした「シウナススイーツ調布本店」は、ふわもち食感の生地によるバラエティ豊かなドーナツやマラサダなどを販売するスイーツショップだ。「バター、牛乳、砂糖不使用の生地は、食感はふわふわだけどパンのようにもちっと歯ごたえがあってシンプルな味わい。『油分が重たくてドーナツ1個は食べられない』とおっしゃっていたご高齢のお客様からも好評をいただいています」と笑顔で話すのは、同店のオーナーで株式会社ASH GARDEN代表取締役の大庭亨氏。

大庭氏は長い間会計事務所に勤めていたが、顧客であるドーナツ店のオーナーと出会い、「子どもが喜んでくれるスイーツが作れたら面白そう」と、事業としての可能性を感じた。そして一から作り方を学び、機材をそろえて、20年に国分寺で工房を備えた実験的な店舗を始めた。やがて商品のラインアップや製造体制などが整ったことで、現在の調布本店をオープンし本格的に製造販売をスタートさせた。

「これまで会計監査の業務を続けてきて、『自分で何かを作り出す』ことに魅力を感じていました。手探りで始めたお店ですが、チョココレートのトッピングの型は

事業拡大に伴いスタッフを増員、課題だったシフト管理業務の負担軽減が実現

現在、同社では、調布本店の他に隣接する工房と、徒歩圏内にあるもう一つの工房を運営。その他、東京・学芸大学と千葉・北習志野に2店のフランチャイズ（以下、FC）店舗を展開している。工房はFC店舗と卸としても商品を供給しており、セントラルキッチンとしての役割を担っている。

FC店舗の運営は各オーナーに任せているが、調布本店と2カ所の工房だけでも在籍するスタッフは社員4人とアルバイトスタッフ39人と多い。オープン後1年間は、シフト作成時にはメモやチャットアプリで個別に希望シフトを尋ね、それを表計算ソフトに転記し、人員の調整を行っていたという。

当時を振り返り、シフト管理・作成を担当する同社マネージャーの渡邊育美氏は次のように話す。

「当時はスタッフが13〜14人ほどでしたが、それでもシフト作成に2日ほどかかっていました。1カ月に2回シフトを出

出勤できるスタッフを募っています」（大庭氏）

シフト作成は渡邊氏が担当。大庭氏が最終的に承認してスタッフに周知している。

「今ではシフト作成にかかる時間は長くても30分ほど。シフト作成に要していたこれまでの時間は何だったのかと感じています。シフト業務に対するストレスがなくなり、注力したいと考えていたECサイトをより充実させることに多くの時間を使うようになりました。」

『Airシフト』によって時間の使い方が大きく変わりました」（渡邊氏）

すでに同社では、24年までに2カ所の新規出店が決まっているという。「柔軟な発想でこれからは喜んでいただけるスイーツを提供していきたいと考えています。事務作業をできるだけ効率化して、物事を考える時間に充てたい。リラクスしてない良いアイデアは出てきません。『Airシフト』ではまだ使っていない機能があるのですが、上手に利用すれば勤怠管理や予算管理も楽になると思っています。」

ゆくゆくはスタッフの希望シフト叶え率を100%にしても経営が成り立つようになりたいと考えています。人件費から逆算して必要な売上を達成できる体制づくりを強化していきます。人手不足の中でも人材を確保できる会社にするために、『Airシフト』を効果的に活用していきたいと考えています」（大庭氏）

シフトボード

スタッフ用シフト管理アプリとして
圧倒的な人気の無料アプリで、
ダウンロード数は1000万以上*

『シフトボード』上で、店舗が用意する二次元バーコードを読み込むだけで簡単に連携、シフトの提出・確認ができる他、店側とチャットでやりとりが可能。また、一度追加したシフトは履歴から素早く複数追加できるなど、管理も楽に行える。毎月の給与を自動計算してくれる機能など、スタッフが欲しい機能を網羅している点が、圧倒的な人気を誇る理由だ。

*2023年9月末時点

サポート体制

『Airシフト』への登録後は、専門スタッフによる電話での導入サポートを実施。操作に困ったときには気軽に相談できる体制が整えられている。

お問い合わせ先
Airシフト ヘルプデスク
電話：0120-759-225
(平日10時〜19時)
<https://faq.airshift.jp/hc/ja/requests/new>

シウナススイーツ調布本店



東京都調布市多摩川5-5-4
営業時間：10時〜18時
定休日：火曜日
<https://www.instagram.com/siunaussweets/>